

波長380nm以下の紫外線カット、
ハウス外張用塗布型BDタイプ農POフィルム



UVソーラー[®]BD



UVソーラーBDの特長(ポイント)

①

「UVソーラーBD」は長期展張用・塗布型紫外線カット農POフィルムです。

②

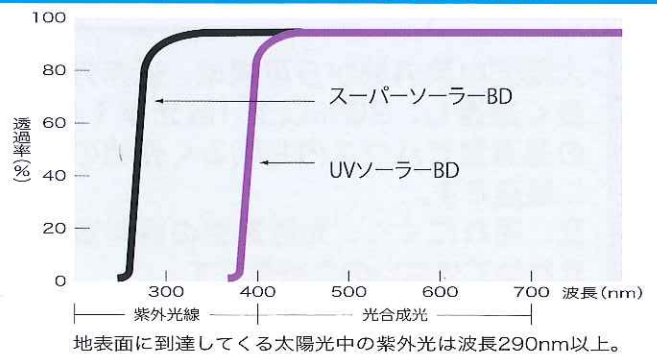
「UVソーラーBD」は有効波長380nm以下の紫外線をカットして害虫の侵入を抑制し、病気の発生と蔓延を抑えられますので減農薬や有機栽培などに適したフィルムです。
(有効波長380nmとは害虫が利用する波長帯の上限数値を意味しております)

③

ハウス内で作業される方を紫外光線から守り、各種資材の劣化損傷もやわらげます。



UVソーラーBDの光線透過特性



塗布型BDタイプとは?

BD「微粒子デポジット」という当社独自の技術でフィルムの内側に防滴剤を事前塗布しています。

又、防滴効果の持続性が高く、多少のこすれ等による**防滴不良を自己修復する**他社に無い機能を備えています。

※こすれの程度によって自己修復が完全に行われな場合があります。

UVソーラーの規格BD

厚み(mm)	規格	形態
0.15	135・150・185・200・230・270・300 330・360・430・460・500・540・570 600・630・670・700・720・760・800	mカット加工

規格表以上の幅広も中接加工にて対応致します。又、規格外の特製品については別途ご相談ください。

UVソーラーBD(塗布品)に関するご注意

- フィルムには表と裏があります。製品に印刷された文字がハウスの外側から正しく読めるようにお張りください。
- フィルムの展張の際、シワ・タルミは禁物です。シワがよらないよう展張し、奥行き両サイド方向にフィルムを固定して下さい。
- PO系のフィルムは、温度差による伸縮性があります。
- 低温時の展張は、高温になるとフィルムが伸びひびくつきます。その際は増縮めを行って下さい。
- 硫黄はフィルムの劣化を促進させますので、硫黄燻蒸や硫黄系薬剤の使用は避けて下さい。
- フィルム内側の防曇処理面を強くこすらないで下さい。展張時の引きずりには十分注意して下さい。
- ハウスバンドを使用すると摩擦により破れることがあります。
- 使用時に同種フィルム以外(塩ビフィルム製品など)と密着させて(重ねて)使用することは避けてください。
- 保管時・展張時には、直射日光や水濡れにご注意下さい。熱着の原因となります。
- この製品は絞り機を使用されますと性能が低下することがあります。
- フィルム展張後すぐにハウスを密閉し、流通させることにより本製品の防滴効果を最大限に活かす事ができます。
- 紫外線カットフィルムはアントシアニン系の紫色を抑制する効果があり、花や野菜に関しては専門家に相談ください。
- 紫外線カットフィルムはミツツバ交配利用ハウスには使用しないで下さい。
- 紫外線カットフィルムのハウスにマルハナバチを利用される場合、使用するハチや農薬の種類、必要な花粉量、ハウスの構造、栽培時の気象条件等によりハチの飛翔に違いが生じる事がある為、詳しくはマルハナバチメーカーにご相談下さい。
- 使用後のフィルムの焼却を禁止されております。適切な処理に努めて頂くようお願いいたします。

製造元



みかど化工株式会社

本社 千葉県市原市潤井戸長者原2298-1-4

TEL.0436-74-1371 FAX.0436-74-2947

URL:http://www.mikadokakou.com